

婦人労働資料第二二號
昭和二十七年十月

婦人雇用の現状

労働省婦人少年局

保存資料

労働省婦人少年局婦人労働課

目次

一 婦人雇用のすうせい	一
二 中学校卒業者の就職状況	三
三 公共職業安定所を通じた一般女子の需求状況	三
四 求人、求職の不均衡と職業との原因	五
五 婦人が多く従事している職業	九

婦人雇用の現状

一 婦人雇用のすうせい

戦時中、婦人はあらゆる職業に進出し、戦後も引続いて戦前とは比較にならない程広い分野にわたって従事しています。そして現在では婦人が従事していない職業は殆どない程になりました。

一九五二年五月現在、我国の女子雇用者の数は三八九万人でこれは我国雇用者総数の二七・九%に当たっています。これを前年同月と比較しますと三〇万人の増加、一九五〇年の同月と比べますと七九万人の増加となっています。雇用者総数中に占める女子の割合も一九五〇年五月には二四・四%、一九五一年五月には二六・八%、一九五二年五月には二七・九%と年々上昇しています。

これは最近婦人にも働く意欲が高まつて来たことと、又、一方社会的、経済的、要求から働く婦人が多くなつて来たことを示しています。然しこの雇用者数は日雇も含めたもので、常用者のみについて見ると幾分複雑な状況を示しています。

即ち一九四九年から一九五〇年の上半期にかけて、厚生省の調査によつて、均衡財政政策によつて、行政の整理や民間の企業合理化が行われ、多くの人員が整理されたために、かなり常用雇用の減少が起きました。その後、一九五〇年六月の朝鮮動乱の勃発以後、特需によつて一部産業は活況を呈し、労働省毎月勤労統計調査の常用雇用指数も、一九五一年四月、五月頃の新規学卒者の入職期まで、相当の上昇を示しました。然しこの状況も、長く続かず、一九五一年下半期に現れはじめた景気の中だるみ状態が労働市場にも影響し、同年十二月まで下向傾向を示しています。（第二表、第一回参照）

第1表 産業別男女別雇用者数
(一九五二年五月)
(単位千人)
総理府統計局調査 労働力調査

産業別	男	女	総数に占める割合
総数	10,070	3,890	27.9%
農林業	280	150	34.8
漁業、水産養殖業	240	0	0
鉱業	500	100	16.6
建設業	810	130	12.8
製造業	7,360	1,620	32.5
卸売、小売、娯楽、金融、保険、不動産業	1,390	660	32.1
運輸、通信、及びその他の公益事業	1,540	200	11.4
サービス業	1,040	860	45.0
公務	910	180	19.7

第3表 公共職業安定所を通じた中学校卒業者の
 の求職状況 (昭和26年度)
 昭和27年9月1日現在

項 目	計	男	女
求職申込件数	305,611	142,114	163,497
求 人 数	327,966	156,112	171,854
就職件数	196,917	89,875	107,042

労働省職業安定局調

以上のように中学校の新規卒業者の就職は比較的容易ですが、一般女子の就職戦線は生やさしいものではなく、殊に特殊技能を持たない中年の婦人の就職はなかなか困難な状態にあります。

三 公共職業安定所を通じた一般女子の求職状況

近年中学校の卒業者は、女子でも上級学校へ進学するもの以外、大部分が就職を希望しています。一九五一年三月中学校を卒業した女子についてみると、卒業生数は八四〇、九四八人でその中四五八%は上級学校へ進学し、四二%が就職し、この外の無業、不詳、死亡などは僅か一三%にすぎません。これは男子中学校卒業生八七二、四一三人中、進学四六七%、就職四六四%、その他六九%に比べて大差ない状態です。これら中学校の新規卒業生は比較的就職し易く求人も相当あります。一九五二年三月の女子卒業生について公共職業安定所を通じた求職求人、就職の関係をみると、第三表の通り女子の求職申込件数は一六万三千、求人数は一七万二千、就職件数は一〇万八千で、求職申込数の六五%以上が就職しています。そして、これら安定所を通じて就職したものの中、六〇%までが紡織、製糸、絹布を含む紡織業と、衣服及び身の廻り品製造業に吸収されています。

45/1

一 中学卒業者の就職状況

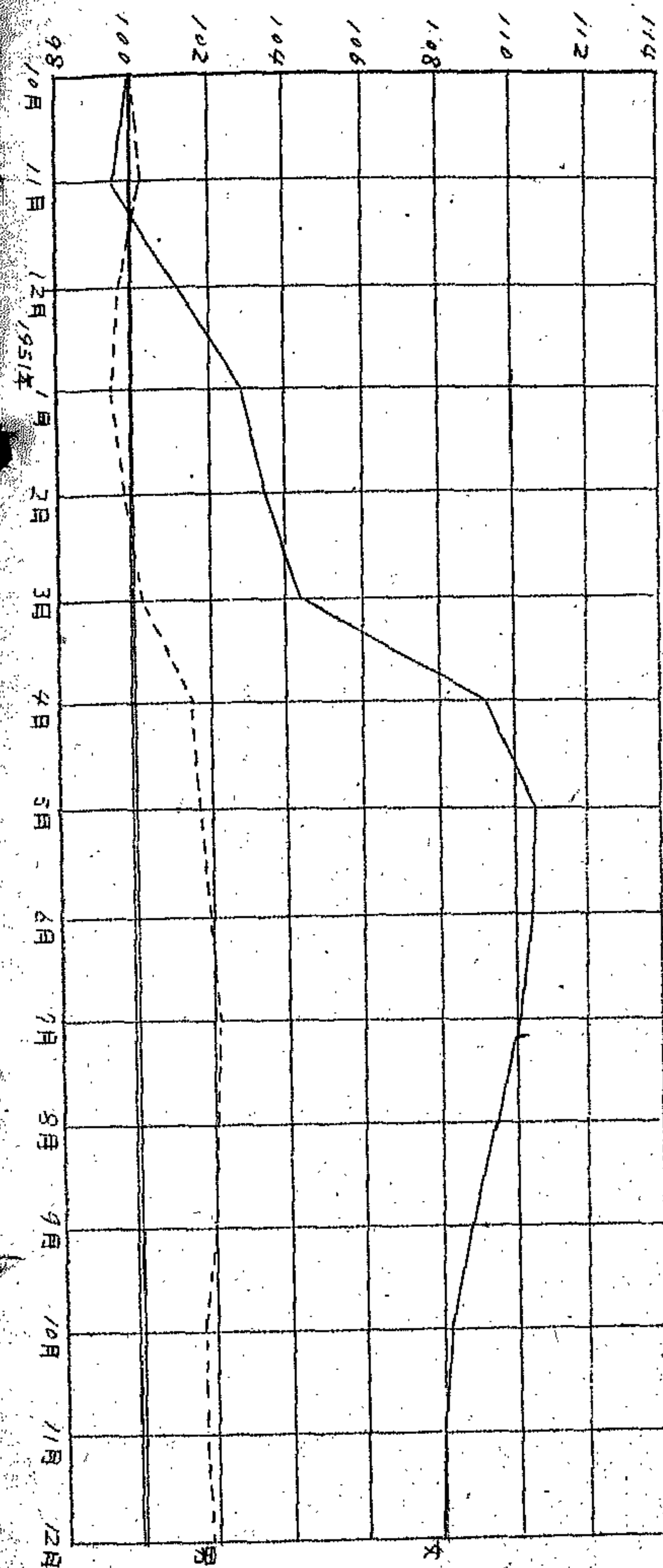
近年中学校の卒業者は、女子でも上級学校へ進学するもの以外、大部分が就職を希望しています。一九五一年三月中学校を卒業した女子についてみると、卒業生数は八四〇、九四八人でその中四五八%は上級学校へ進学し、四二%が就職し、この外の無業、不詳、死亡などは僅か一三%にすぎません。これは男子中学校卒業生八七二、四一三人中、進学四六七%、就職四六四%、その他六九%に比べて大差ない状態です。これら中学校の新規卒業生は比較的就職し易く求人も相当あります。一九五二年三月の女子卒業生について公共職業安定所を通じた求職求人、就職の関係をみると、第三表の通り女子の求職申込件数は一六万三千、求人数は一七万二千、就職件数は一〇万八千で、求職申込数の六五%以上が就職しています。そして、これら安定所を通じて就職したものの中、六〇%までが紡織、製糸、絹布を含む紡織業と、衣服及び身の廻り品製造業に吸収されています。

第2表 男女別、月別、雇用指数 (1950年10月=100) 1950年10月~1951年12月

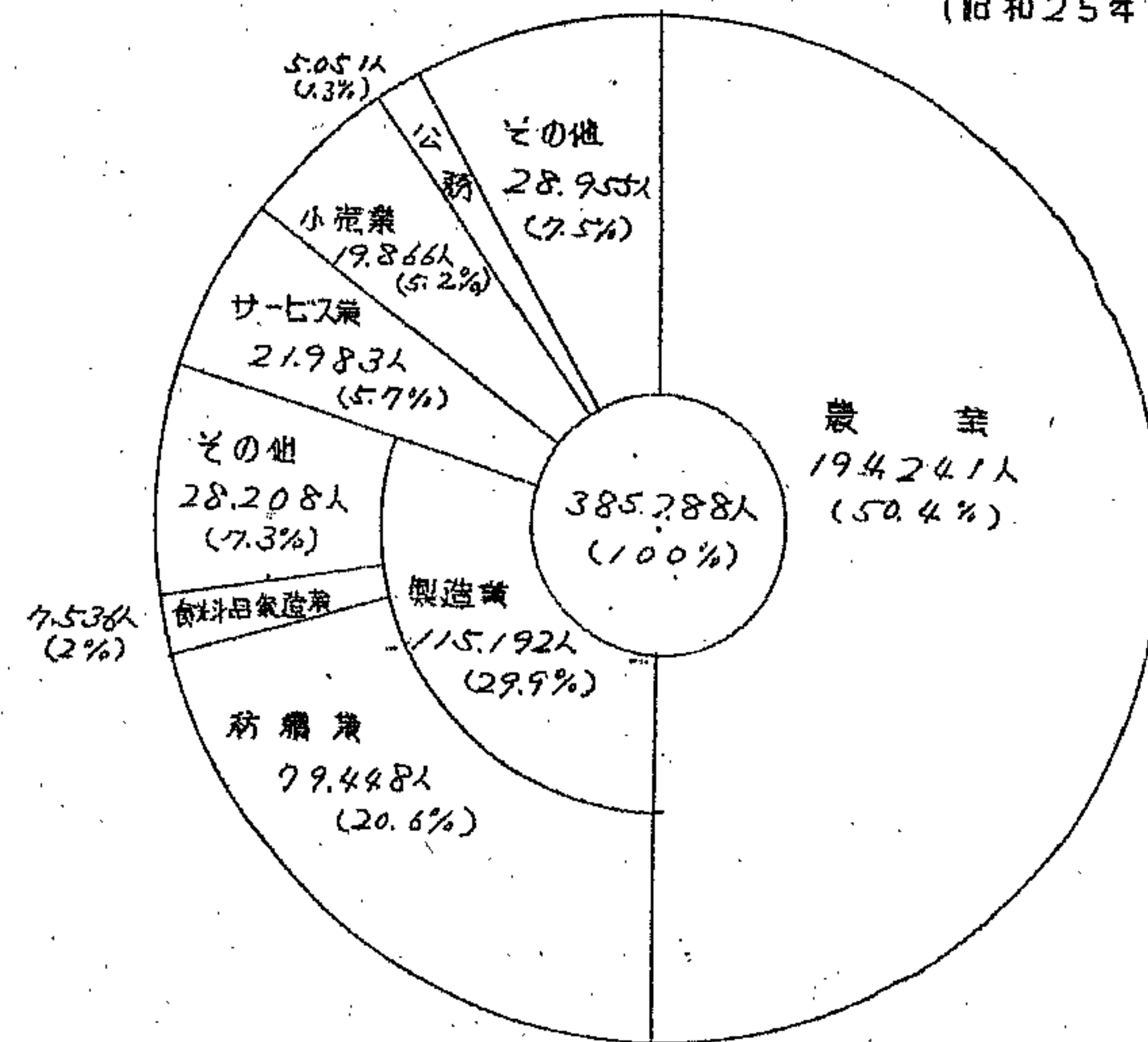
	1950年10月	11月	12月	1951年1月	2月	3月	4月	5月
男	100.0	99.4	99.2	99.3	103.5	104.2	107.3	110.6
女	100.0	100.3	99.8	99.3	99.6	100.1	101.5	101.6
男	1951年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
女	110.5	110.2	109.4	108.8	108.3	108.0	108.0	
男	101.9	102.1	102.0	102.0	101.8	101.7	101.9	

注 この指数は労働省、毎月労働統計調査の月次推計労働者数から算出したものです。

第1図 1950年10月を基準とした雇用指数の推移 (1950年10月~1951年12月)



第 2 図 女子中学校卒業 各産業別就職状況 (昭和25年度)



労働省職業安定所の調べによつて一般女子の求人・求職・就職の関係をみますと、一九五二年上半期(一月―六月)に全国の公共職業安定所で取扱つた女子の新規求職申込件数は八五万で、新規求人数(五〇万)の一四倍、就職件数(三五万)の二五倍に当たっています。一般に特殊技能をもつてゐる人達は就職し易く、同調査によつても、技能的反応の求職数は就職数の約一六倍ですが、事務員や店員などのような「書記的販売的職業」では、求職数は就職数の約三四倍に上つてゐます。

次に公共職業安定所を通して就職した婦人はどのような産業に吸収されたかを見ますと、製造業に一八万六千(五三%)で最も多く、次いでサービス業に六万(一七%)、卸売及び小売業に四万六千(一三%)の順となつてゐます。更に製造業中ではやはり繊維業が一番多く、八万三千で、製造業中四五%を占めてゐます。

四 求人・求職の不均衡な職業とその原因

一九五二年八月末現在の状況について、婦人少年局で地方婦人少年室を通じ、全国七大都市(東京、神奈川、愛知、大阪、京都、兵庫、福岡)の公共職業安定所に問い合わせたところによりますと、求職者が求人よりずっと上廻つてゐるために就職が困難なもの、或は求人が多いにもかかわらず、雇う側と雇われる側の希望条件がうまく合わない為、に求職者が少なかつたり、就職が困難であつたりするものなど、種々の原因で求人・求職・就職の關係が不均衡になつてゐる職業が少くありません。次に右の調査に基づいてその状況をみましょう。

一 求職が多く、求人が少い職業

1 一般事務員

仕事が軽便でとつと易い為、特殊技術を持たない就職希望者が殺到する、求人も相当あるが求職者に迫いつかない。そのため求職者が求人の一〇倍前後になつてゐる地方が多い。最近青色申告等の為、中小商店営業から会社組織に変更した中小商店が多くなつたので、一人で帳簿計算等の出来る人を求める傾向が強くなつてゐる。従て経理事務熟練者の求人は比較的多く就職率もよく、雇用条件も六〇〇円―七〇〇円と一般事務員より上廻つてゐる。

一般事務員の雇用条件は四〇〇円―五〇〇円、年令一八才―二二、三才、事務経験一年―三年、時に能筆、容姿端麗等の条件がある。

2 雑役婦

中年の特技を持たない婦人の求職が圧倒的に多いが、求人がこれに伴わない、子供を待つ未亡人や主婦の求職も相当あるが、求人側は家事の負担の重い家庭の主婦を避ける傾向があるので就職は容易では

い、然し大都市の中心地では体面上求職者が少なく、求人が求職を上廻っているところもある。雇用条件は一日二〇〇円前後、又は月四〇〇〇円、五〇〇〇円、東京の中心地では五〇〇〇円、八〇〇〇円のところもある。

3 洋裁師、ミシン工

少しでもミシンの心得のあるものは皆この職を希望するが、求人側は経験のある熟練者を求めていることが多く、或は見習として住込を条件とすることもある。最近ますます求職者がふえる傾向にあり、求人殊に未熟練者の求人はそれに例して承えていない。

雇用条件は見習で月二〇〇〇円、四〇〇〇円前後、又は出来高制、住込の場合もある。動力ミシンの場合、三年、四年の経験を求めている場合が多いが、その条件にかつたものが殆んどない。雇用条件は普通のミシン工よりややよく、一日二五〇円、三百円である。

4 販売店員

一般に店員は年令の若いこと、容姿端麗なことを条件とすることが多く、又住込を条件とする場合もかなりあるが、住込の希望者は少い。

雇用条件は住込二〇〇〇円、二五〇〇円位、通勤三〇〇〇円、五〇〇〇円位である。デパート店員の雇用条件は月四、五〇〇円、七〇〇〇円位で比較的良いが、採用の条件が厳しく、就職は容易でない。昨年度東京某一流デパートの採用条件は次の通りであった。

- 一 本年度新制高校生
- 二 身長一、五メートル以上
- 三 容姿端麗（めがねをかけていない事など）
- 四 両親健在
- 五 一家に定職あること

六 大体において中流家庭の子女

5 タイピスト

求人側は二、三才で高等学校卒業以上の経験者を望むのに対し、求職者は新中卒で養成所出身の未経験者が多い。邦文タイピストの雇用条件は月四〇〇〇円、八〇〇〇円、平均六〇〇〇円。英文タイピストは月五〇〇〇円、一〇〇〇〇円、平均八〇〇〇円である。

以上のように特殊技能を必要としないかつつぎやすい職業や、軽易な技術によつて比較的収入の多い職業などは求職が非常に多く、求人がこれに伴わないため、就職がなかなか困難な状態にあります。何らかの特殊技能を持つこと、その技能に熟練することがよい職業を得る要件です。

二 求人が多く、求職の少ない職業

1 家事使用人

求人側は住込であること、年令の若いこと、身元の確実なことを条件とする場合が多い。住込の家事使用人は労務基準法の適用が広い。労働時間が比較的長く、身分的拘束が多く、その割に低賃金であるというように労働条件が他の職業に比べ劣悪になり勝ちなので最近これに対する若い婦人の求職が非常に少い。雇用条件は住込一五〇〇円、二五〇〇円。

2 個人病院の看護婦

住込を条件とすることが多いため、求職者は家事使用人と全概に取扱われることを嫌い労働条件が明確で身分的拘束のない大病院を希望するものが多い。又個人病院の看護婦としては、通勤を希望するものが増加している。一般に看護婦は求人、求職共に多いが、双方の希望条件がうまく合わない場合が多い。

雇用条件は大病院の場合、合宿月一五〇〇円（見習）／八〇〇〇円、平均三〇〇〇円、四〇〇〇円。

円・通勤五〇〇〇—六〇〇〇円、個人病院の場合住込で平均二〇〇〇円—三〇〇〇円程度である。

3 私設電器交換取扱者

夜間勤務のある場合は求取者が少い。求取者が資格認定書を持つていない場合も多く、持っていててもそれが一定地域のみでしか通用しない用に無資格と成ることもしくはない。又求人側は二五才位までの独身者を求めるが、求取者は既婚者が多い為、求人側と求取側の希望条件が合わない場合が多い。

雇用条件は月六〇〇〇円—七〇〇〇円

4 バス・車等

求人は相当あるが、労力が過激なため求取は比較的少い。雇用条件は月五〇〇〇円—六〇〇〇円

5 小工場の工員

小工場では家事使用人と全概に取扱われることがあること。比較的低賃金で、給料遅拂の不安があること、何らの保障制度の無いこと、などのために最近若い婦人で小工場の工員を希望するものが少く、一般に工員志望者は大企業に集中する傾向がある。中年婦人の求取は割合多いが、求人側が若い見習工を求める場合、求人が求取を上廻ることがすくなくない。

雇用条件は一日一七〇円—二〇〇円位、月三、五〇〇円—五〇〇〇円位

然し工場によつては請負制度で相当の収入のあるところもあり、このようところは移動が少く、従て求人も少い。

6 外交員（販売・金融・保険勧誘・集金など）

固定給の多いところが多く、あつても大体三〇〇〇円位で、後は歩合給のものが多い為、生活の不安定をおそれて求取者が少い。

7 キーパンチャー（駐留軍の機械集計係）

条件として英語（会話・筆記・読解）堪能であつて機械操作に経験あるものと成つて居り、月収一〇、

〇〇〇円位であるが、駐留軍の能率的に単純化された取場のシステムにあき易く、希望者が少い。

8 サービス店員（接客係も含む）

求人側は住込を希望するが、求取側は住込を希望しない。雇用条件は食事付四、〇〇〇円程度である。

以上の通り一般に住込を条件とする取業は求取が少く、求人が上廻つています。理容師や美容師の住込見習、個人商店の住込店員などもその例で、家事使用人と全概に扱われることも多く、労作時間での他の労務条件も大企業に比べて不利にほりがちなので、規模の小さいところや住込の取業への求取は次第に減り大企業への求取がふえる傾向にあります。

五 婦人が多く従事している取業

今度の取業をけいきとして婦人はあらゆる取業に進出し、現在では婦人が従事していない取業は殆どなく、なりまじりだが、昭和五年頃には女子が一人も従事していない取業として、鋸接工・鷹職・大工等の力仕事をはじめ、看護士・調理士・計理士などの専門的取業を含めて約五〇種類もありました。

このように婦人は今日あらゆる取業についていますが、その中でも婦人が多く従事している取業をあげてみますと、会社などの一般事務員、タイピスト、電器交換取扱者、公務員などのような書記的取業や、教員、店員などをはじめ、いわゆる「婦人の取業」とされている看護婦、助産婦、美容師、家事使用人、紡績工、製糸工、織布工、編物工等があります。この外にも医師、歯科医師、薬剤師、看護士、調理士などのような専門的取業や、電気や土木の技術者、機械熟練工、製図工などのような技術者も年々ふえてきています。

婦人の多く働いて居る取業（五万人以上）を一九五〇年の国勢調査によつて見ますと、右四表の通りです。（尚助産婦以下は参考のため収録しました。）

表 4

婦人が多く働いている職業

1950年 国勢調査

職 業 別	女	男
農 耕 家 族 従 事 者	7,709 人	3,008 人
農 耕 作 業 者	839	4,395
販 売 店 員 及 び そ の 他 の 販 売 従 事 者	760	667
会 計 事 務 員	247	421
教 員	230	407
女 中 (個 人 の 家 庭 の)	229	-
和 服 裁 縫 師 及 び ド レ ス マ ー カ ー	222	29
販 売 に 従 事 す る 小 売 店 主	212	705
織 布 工	209	36
女 中 及 び 給 仕 人 (個 人 の 家 庭 を 除 く)	206	15
農 耕 賃 金 労 働 者	156	190
人 夫 雑 役	144	429
養 蚕 家 族 従 業 者	137	18
理 髪 師 及 び 美 容 師	103	86
呼 売 人 行 商 臨 天 商 人	103	189
畜 護 婦	91	-
芸 技 タ ン ケ ー 及 び 接 客 婦	80	-
精 紡 工 及 び 粗 紡 工	77	10
棉 糸 工	66	3
電 話 交 換 取 扱 者	61	2
助 産 婦	37	-
保 健 婦	10	-
薬 劑 師	7	18
医 師	7	69
歯 科 医 師	3	24
栄 養 師	1	1